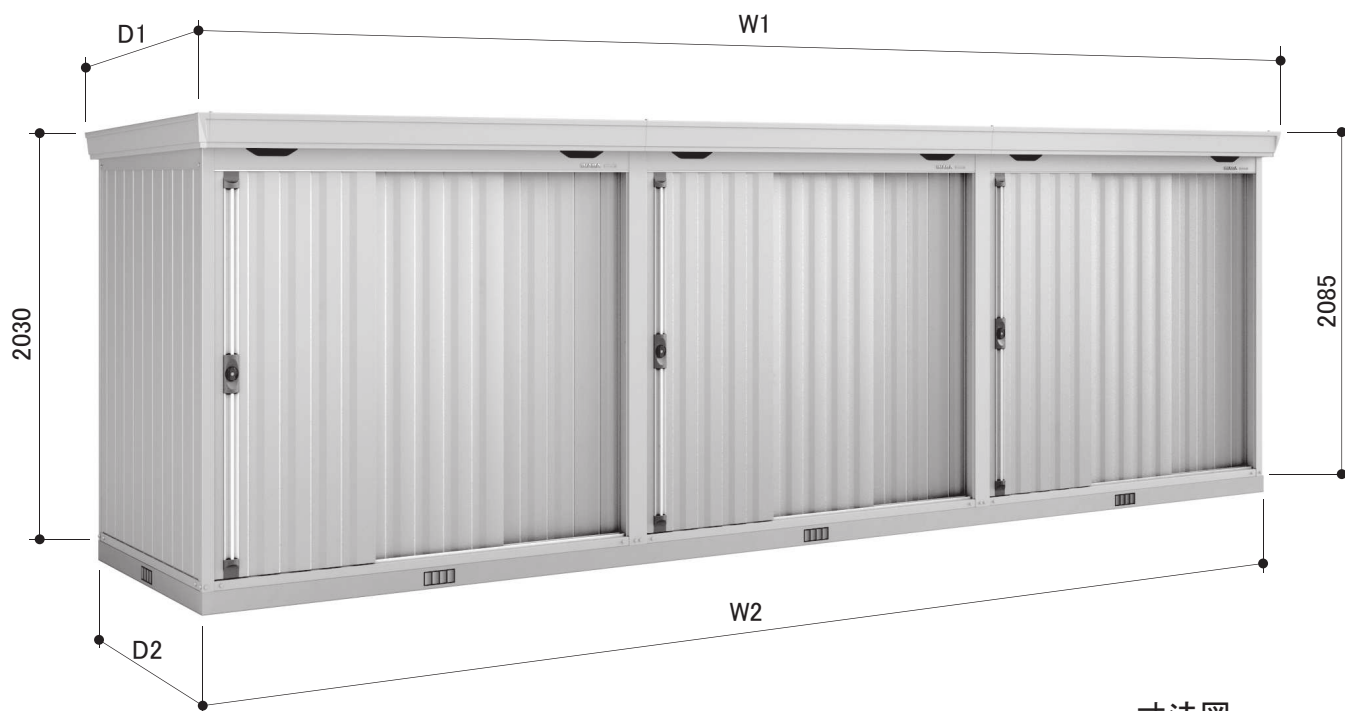


# FORTA

## イナバ物置 組立説明書【FL-W4,5】

このたびは、イナバ物置「フォルタ」をお買い上げくださり誠にありがとうございました。  
 私たちは、この製品の開発にあたって「良いものを安く」をモットーに、苦心して作り上げました。  
 どうぞ末永くご愛用いただきますようお願い申し上げます。  
 なお、この製品の組み立て、ご使用にあたっての注意についてご説明いたしますので、かならずお読みください。  
 組立説明書の基礎・転倒防止工事(アンカー工事)については標準的施工方法とします。  
 組立説明書と異なる施工を行う場合は、予め当社にご相談ください。

写真はFL-2215SL-3



寸法図

(N:連棟数, 単位:mm)

機種	W1	W2	D1	D2
1814SL	$N \times 1790 + 110$	$N \times 1790$	1550	1370
1815SL			1710	1530
2214SL	$N \times 2210 + 110$	$N \times 2210$	1550	1370
2215SL			1710	1530



### 組み立てにあたっての注意事項

1. 転倒防止工事(アンカー工事)を必ず行ってください。
2. 風の強い日の組み立ては避けてください。
3. ユーザーの組み立てはなるべく2人以上で行ってください。
4. 30kg以上の梱包や部材の運搬は、2人以上で行ってください。
5. 組み立て時は、ヘルメット・手袋・長袖シャツなどの保護具や脚立等を使用してください。
6. 組み立て中は部材の転倒防止のために、つかい棒やロープなどを使用してください。
7. 組み立て途中で放置しないでください。

当該機種には、製品及び施工の瑕疵並びにその瑕疵に起因する損害に係る優良住宅部品瑕疵担保責任保険・損害賠償責任保険が付されています。組立説明書等で指示された施工方法を逸脱しない方法で施工を行った者は、上記保険の被保険者として、施工に関する瑕疵担保責任及び施工の瑕疵に起因する損害賠償責任を負う際には保険金の請求ができます。詳細は、当社及び一般財団法人ベターリビングのホームページをご参照ください。  
 ( <http://www.inaba-ss.co.jp/> または <http://www.cbl.or.jp/> )

# 組立順序のご説明

組み立てにあたって、部品の共通性・互換性を持たせるために、取り付け穴が余分に空けてあります。相手に穴のない所はボルト締めはありません。各取り付け穴は、組み立てを容易にするために余裕を持たせてあります。片寄せの締め方をすると、部品が入らなかつたり穴が合わない場合がありますので、この場合はネジをゆるめ調整してください。

## 1. 基礎施工

水盛り・遣り方にしたがって根伐・砂利等で地固めをし、下図のように基礎を作ります。

※この説明書における基礎は標準施工図面です。強風地、軟弱な地盤、寒冷地等は、地域の実情に合わせた基礎にして下さい。

※基礎の水平がとれていない場合は、戸当たりが悪くなったり、雨もり等の原因になることがあります。

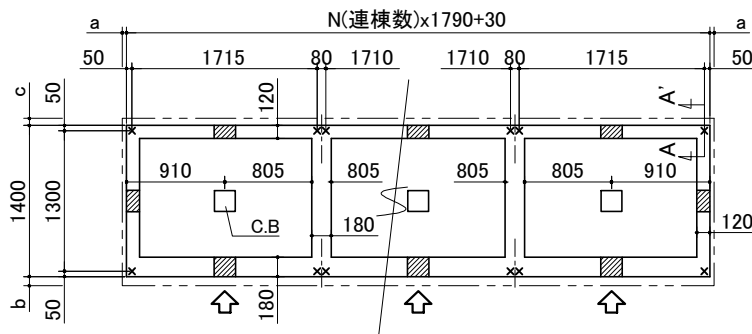
安全確保のため、転倒防止工事には十分注意してください。

[単位:mm]

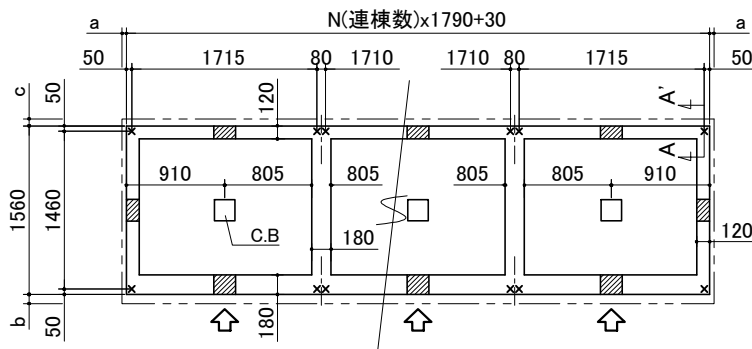
× …アンカーボルト位置を示す    ▨ …床下換気口を示す    - - - - - …屋根のラインを示す    ↑ …扉面を示す    C.B…コンクリートブロックを示す  
a,b,c…屋根の出幅を示す(a=40,b=85,c=65)

▲ 注意  
アンカーボルトは布基礎芯ではありません。

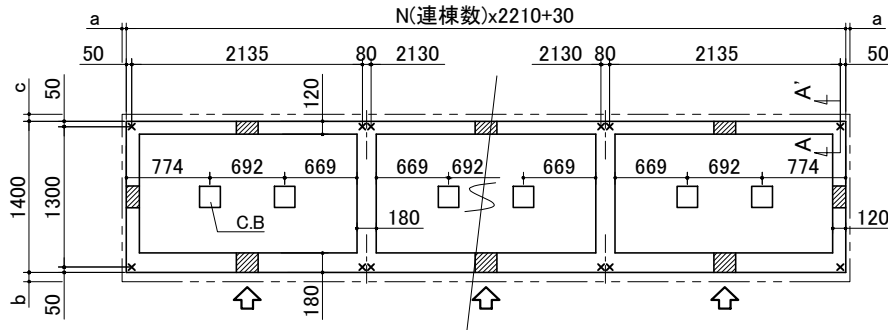
アンカーボルト数:N(連棟数)×4(本)



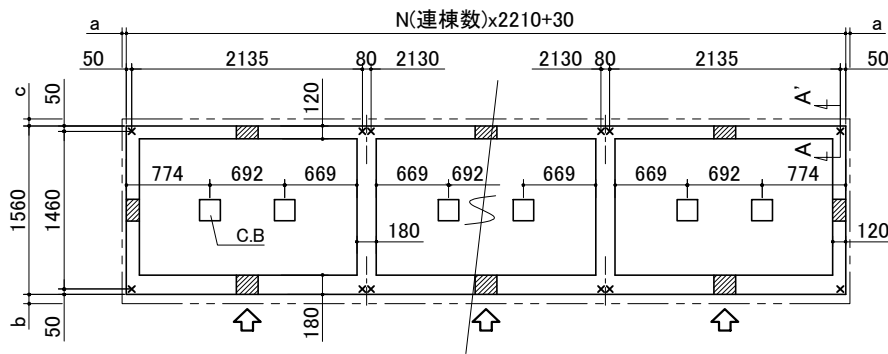
FL-1814SL



FL-1815SL



FL-2214SL



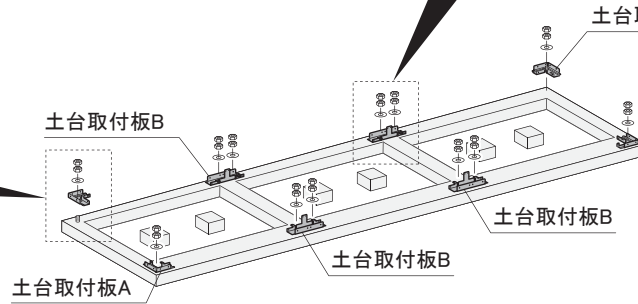
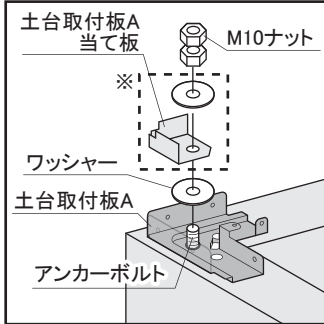
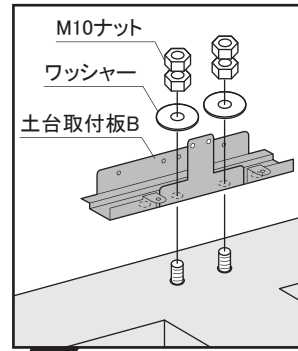
FL-2215SL

基礎詳細	
基礎断面	A-A'断面
<p>※基礎天は面取しないでください</p> <p>金コテ押工</p> <p>120</p> <p>180</p> <p>D13</p> <p>▽G.L.</p> <p>540</p> <p>D10@300</p> <p>D13</p> <p>150</p> <p>D10</p> <p>D10@300</p> <p>D10</p> <p>300</p> <p>C.B</p>	<p>※ワッシャー1枚 ナット2個</p> <p>70 50</p> <p>※アンカーボルト M10×160以上 (M12でも可)</p> <p>出35~40</p> <p>▽G.L.</p> <p>※別途手配品</p>

## 2.土台枠組

### ①土台取付板A・Bの設置

布基礎から出ているアンカーボルトに合わせ土台取付板A(コーナー用)と土台取付板B(中間用)を設置し、ワッシャー、ナットで仮止めします。

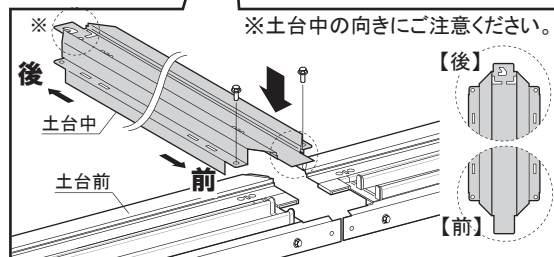
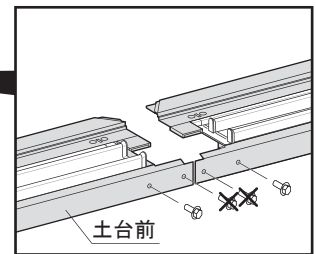
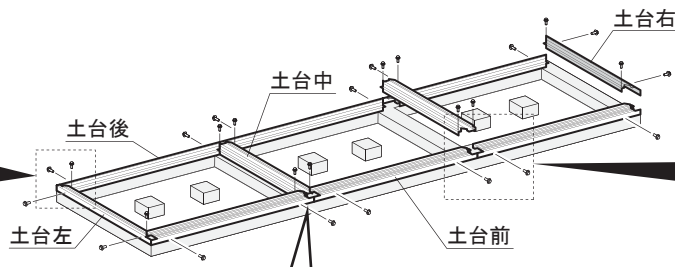
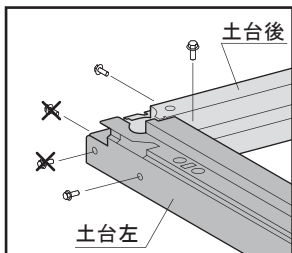


※[ ]は補強セットの場合のみ使用。  
補強セットの梱包に入っています。

### ②土台設置

土台前・土台後を土台取付板A・Bにかぶせ、その上に土台左右と土台中をかぶせてボルトで仮止めします。土台の直角を出してからボルトを本締めしてください。

※「×印のボルト(土台の端部)」はとめないでください。(柱の取り付けができなくなります)



M6ボルト:(N×8)+4 本  
(N:連棟数)

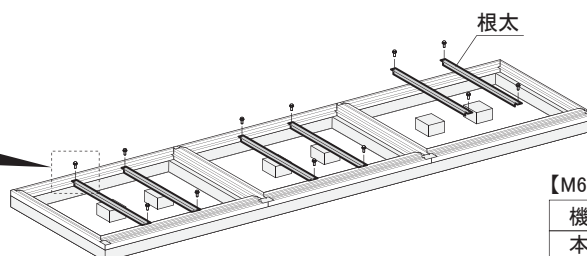
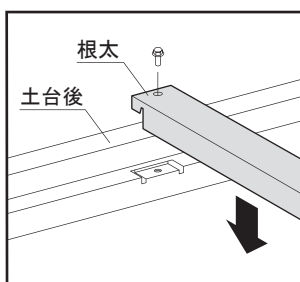
## 3.根太取付

根太のペロを土台前後の角穴に入れ、ボルトで取り付けます。

※土台の水平を確認してください。

### FL-1814L,1815L場合

根太は各棟に1本ずつの  
取り付けになります。



### 【M6ボルト数】

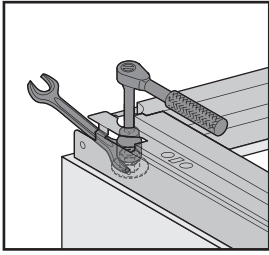
機種	1814・1815	2214・2215
本数	N×2	N×4

(N:連棟数)

## 4.アンカーボルト固定

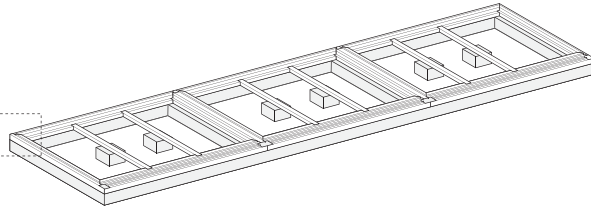
仮止めていたアンカーボルトを締めます。

※アンカーボルトはダブルナット(ナット2つ)によるゆるみ止めを確実にこなってください。



ダブルナット締め付け例

ナット2つを締め付けた後、必ず上側のナットを押えながら下側のナットを左回りに締め付けてください。



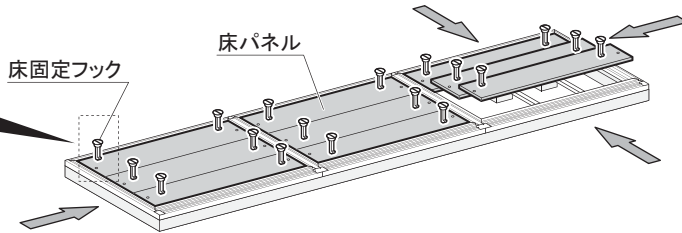
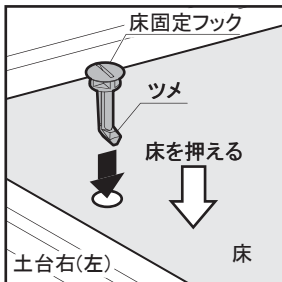
## 5.床パネル取付

①床パネルをはめ込みます。

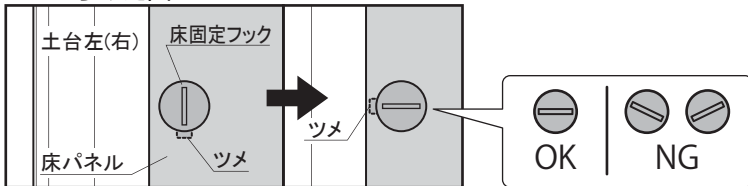
②床を押さえながら床固定フックをコイン、ネジ板等を使い取り付けます。

### FL-1814L,2214L場合

床パネルの大きさが2種類あります。小さいもの(床パネル前)を一番前にはめてください。



〈上からみた図〉



床固定フックのツメが外側に向くように90度回転させます。

### ※床パネルにスキマができる場合

ボルトとアンカーのナットを緩めて矢印方向に土台枠を寄せて調整し再度ボルトとナットを締め直してください。

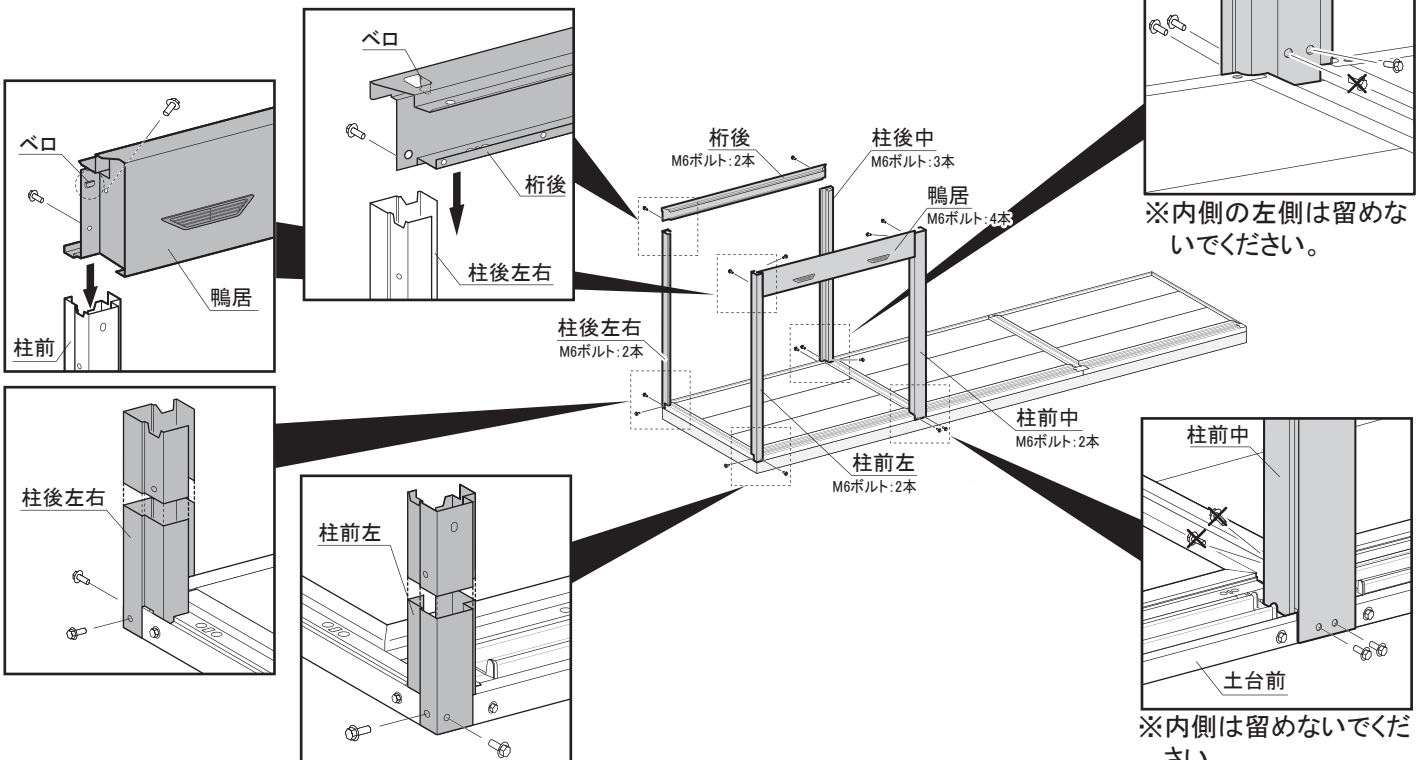
床固定フック:床の枚数×2

## 6.柱・鴨居・桁後取付

柱後左右、柱前左、柱後中、柱前中を土台に差し込み、ボルトで取り付けます。

※右図の「×印のボルト」はとめないでください。(仕切り壁等の取り付けができなくなります)

鴨居、桁後のペロを柱に引っかけボルトで取り付けます。

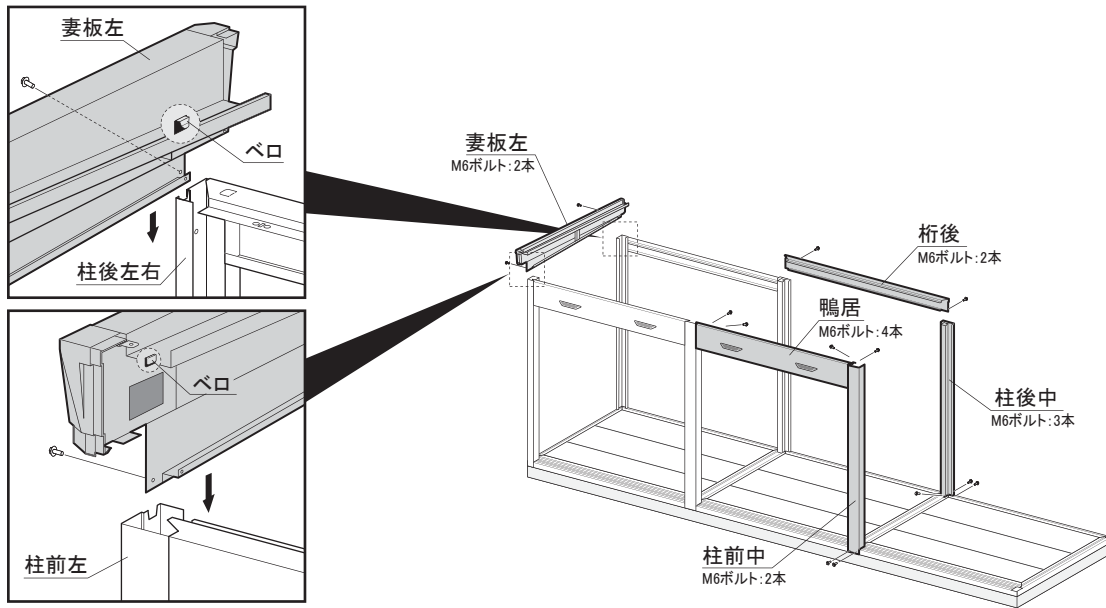


※内側の左側は留めないでください。

※内側は留めないでください。

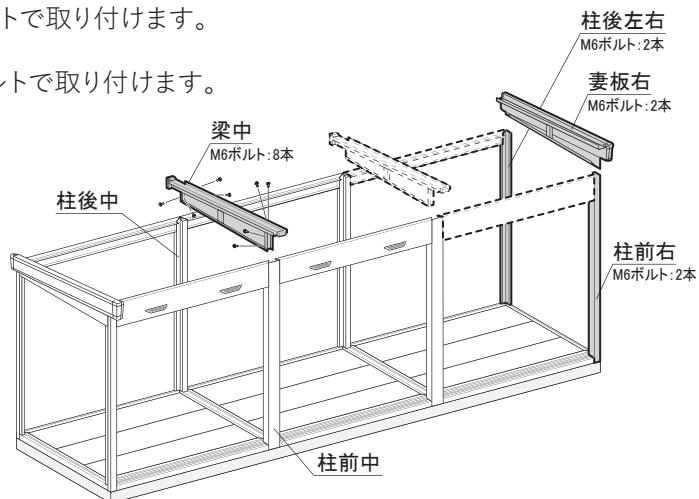
## 7.妻板左・柱前後中・鴨居・桁後取付

妻板左のペロを柱前後に引っ掛け、ボルトで取り付けます。  
「6.柱・鴨居・桁後取付」と同じ要領で下図の部材を組み立てます。



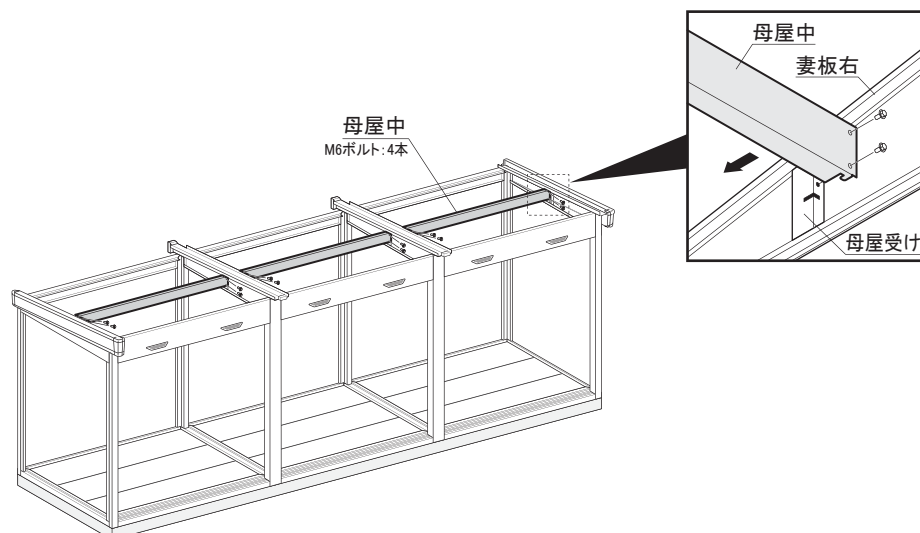
## 8.梁中・妻板右取付

梁中を柱前中と柱後中に渡し、内側からボルトで取り付けます。  
以下「7」「8」の手順をくり返します。  
最後の棟は柱前右と柱後左右、妻板右をボルトで取り付けます。



## 9.母屋中取付

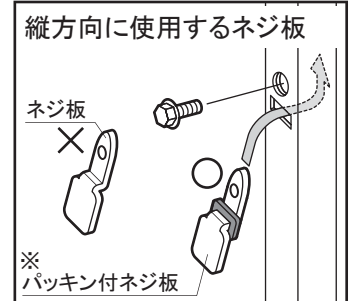
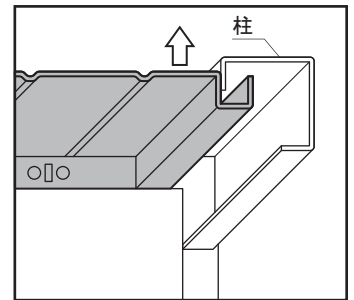
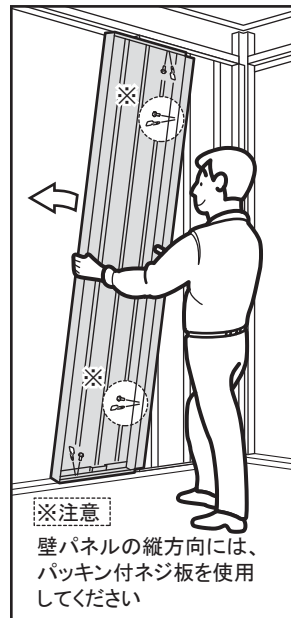
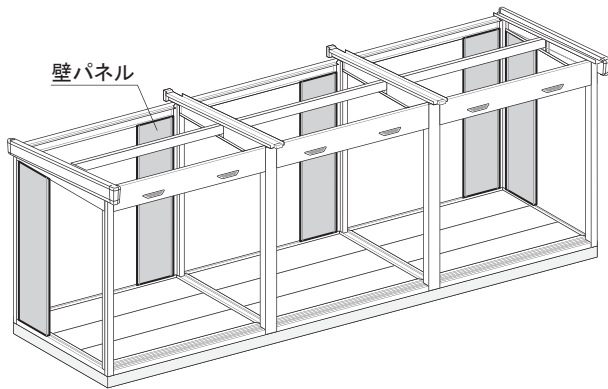
母屋中を妻板左右・梁中の母屋受けにはめ込み、ボルトで取り付けます。





## 10.壁パネル取付

壁パネルを内側から柱後にボルトとネジ板で取り付けます。  
 (ゆがみや倒れ防止になります)  
 ※別売のガラス窓等が付く位置は壁パネルの取付は不要です。



## ●壁パネル組合せ図

■部以外の壁パネルは、「14.鼻隠し後取付」で取り付けてください。  
 ※壁パネルの組立順が違いますと、棚板が付かない・雨もりがする等の原因となります。

### <奥行方向の壁パネルの取付>

柱後側から取り付け、柱前は柱カバーも取り付けます。  
 ※柱カバーは柱の入口側のみ取り付けます。(柱カバーは正面パネル梱包入り)  
 ※耐風・耐震補強セットの場合は、取付位置説明書(補強用壁パネルに添付)を  
 ご参照ください。  
 補強金具の取付位置に柱カバーは取り付けません。  
 ※機種1815・2215の場合は(A)が大きい壁パネル(W580)になります。  
 ※仕切壁部の壁パネルの取り付けにはパッキン付ネジ板は使用しません。

【奥行方向のボルト・ネジ板数】

機種	1814・2214	1815・2215
M6ボルト	N×19+17	N×20+20
ネジ板	N×19+1	N×20+4
パッキン付ネジ板	16	

(N:連棟数)

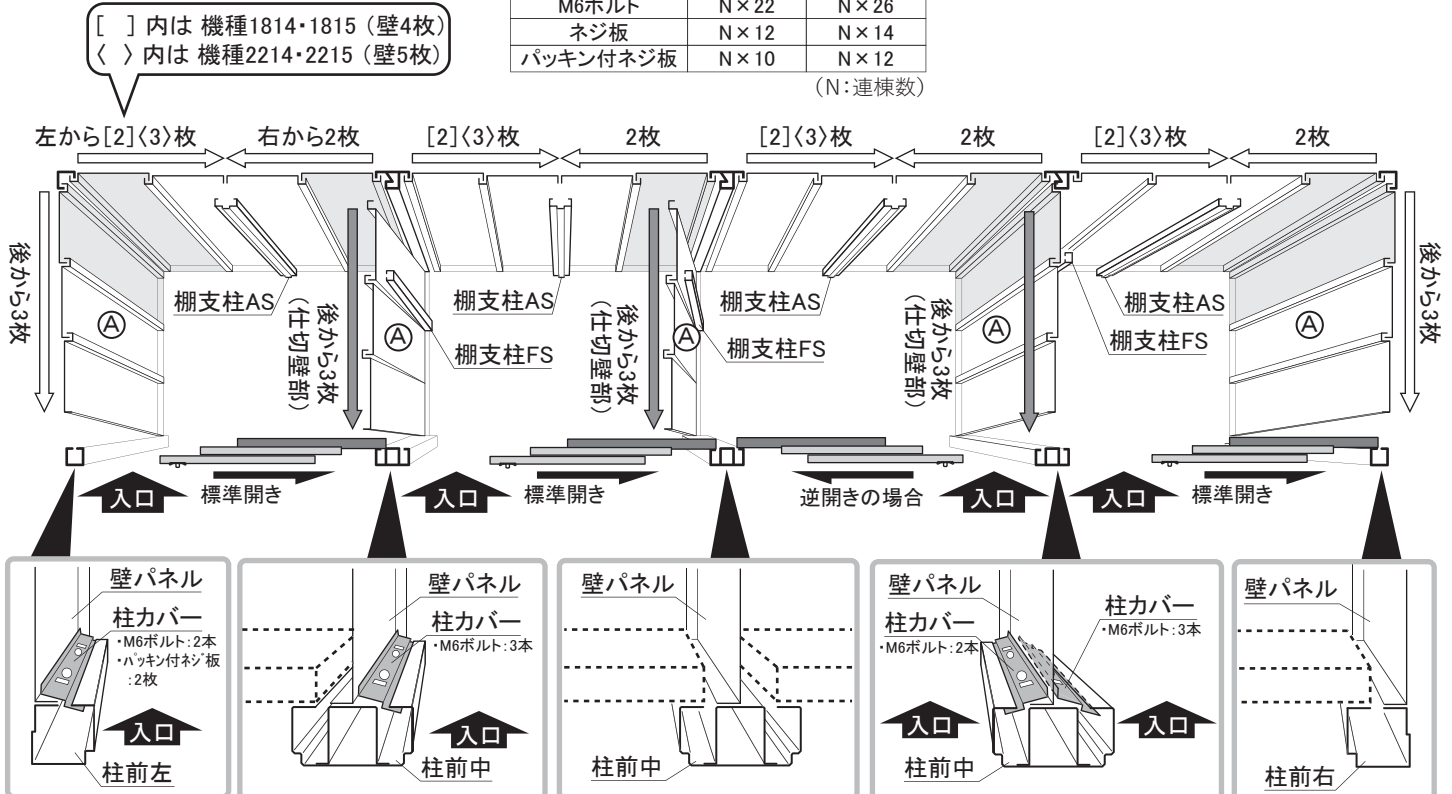
### <後面の壁パネルの取付>

両側から壁を取り付けます。

【後面のボルト・ネジ板数】

機種	1814・1815	2214・2215
M6ボルト	N×22	N×26
ネジ板	N×12	N×14
パッキン付ネジ板	N×10	N×12

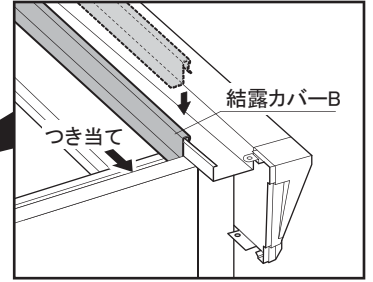
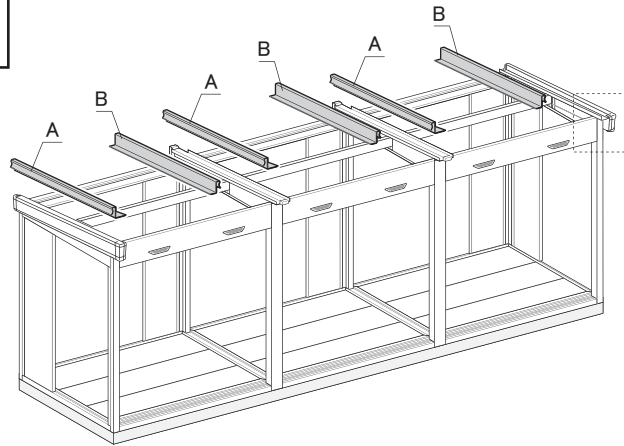
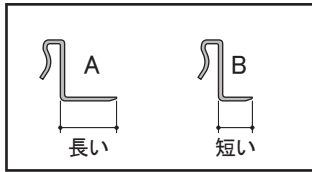
(N:連棟数)



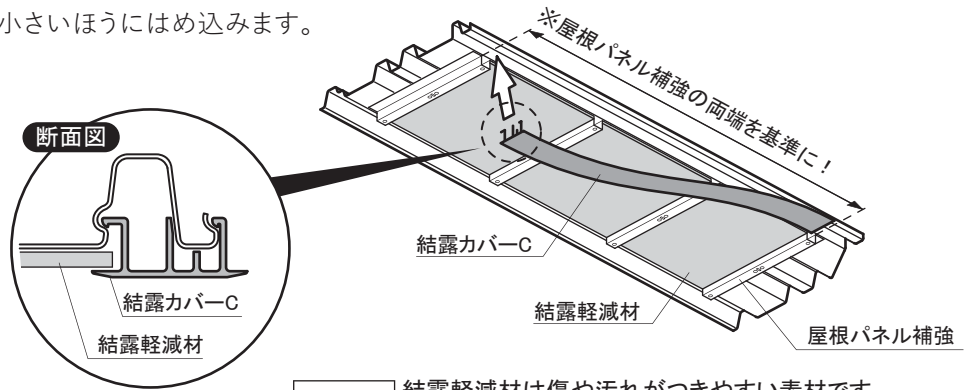
【柱カバーの取付:イラストの扉の開き方向の例を参考に、柱の入口(開口)側に取り付けてください。】  
 ※耐風・耐震補強セットの場合は、全棟の扉を同じ開き方向に統一してください。

## 11. 結露カバーの取付(結露軽減材付き屋根のみ)

- ① 結露カバーA・Bを妻板と梁中にはめ込みます。  
 ※結露カバーAとBは形状が似ています。形状を確認して取り付けてください。



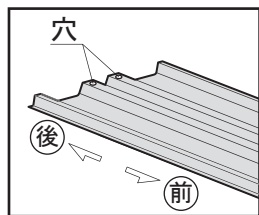
- ② 結露カバーCを屋根パネルの山の小さいほうにはめ込みます。



**注意** 結露軽減材は傷や汚れがつきやすい素材です。指等で強く押さないよう扱いには十分ご注意ください。

## 12. 屋根パネル取付

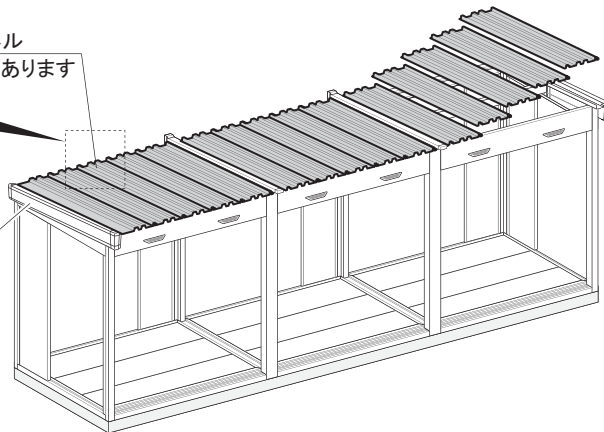
- ① 屋根パネルを妻板左からつなぎ目をかみ合せてのせ、鴨居・桁後・母屋中にボルトで取り付けます。  
 ② 屋根パッキンを桁後と屋根パネルのつなぎ目に押し込みます。(※結露軽減材付き屋根の場合は不要)



屋根パネル  
 ※前後があります

※穴のあいている方を後ろにしてください。

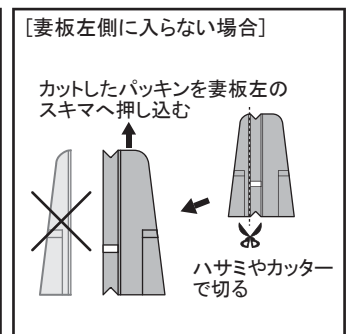
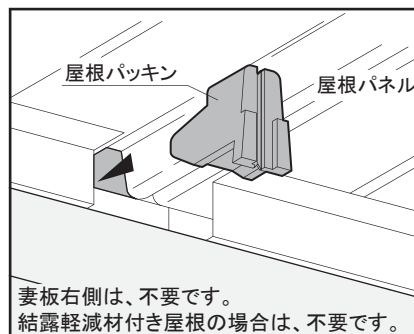
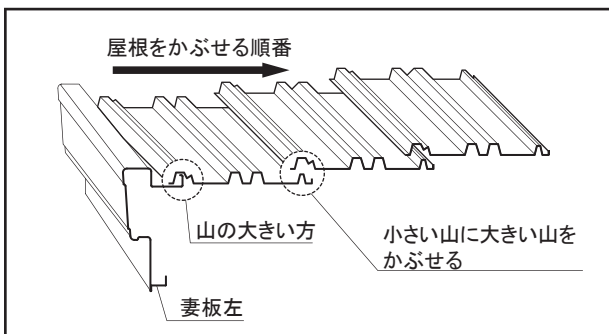
妻板左



### 【M6ボルト数】

機種	1814・1815	2214・2215
本数	N×24	N×30

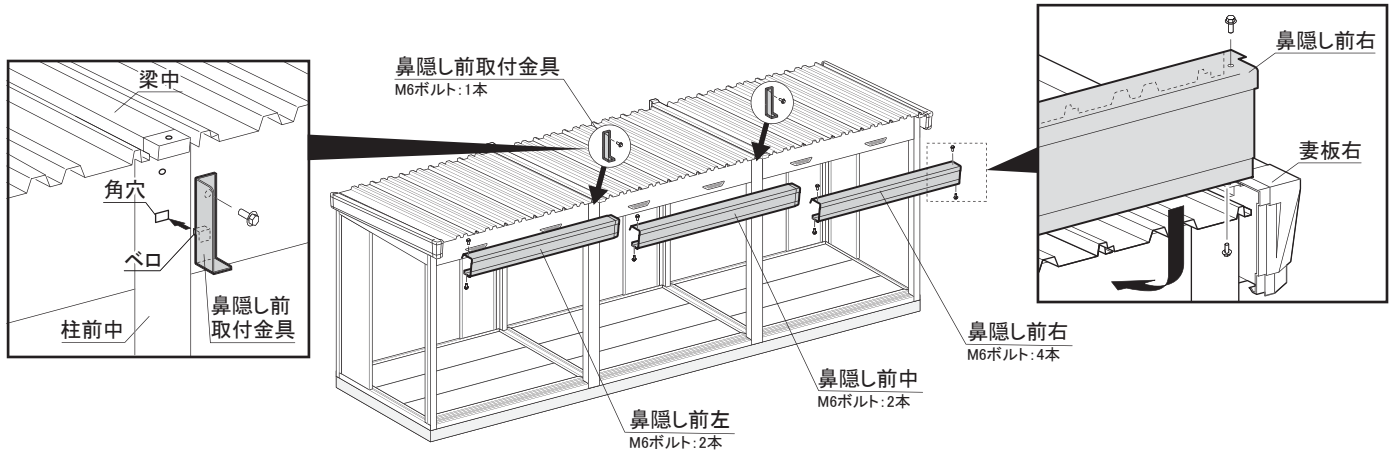
(N: 連棟数)





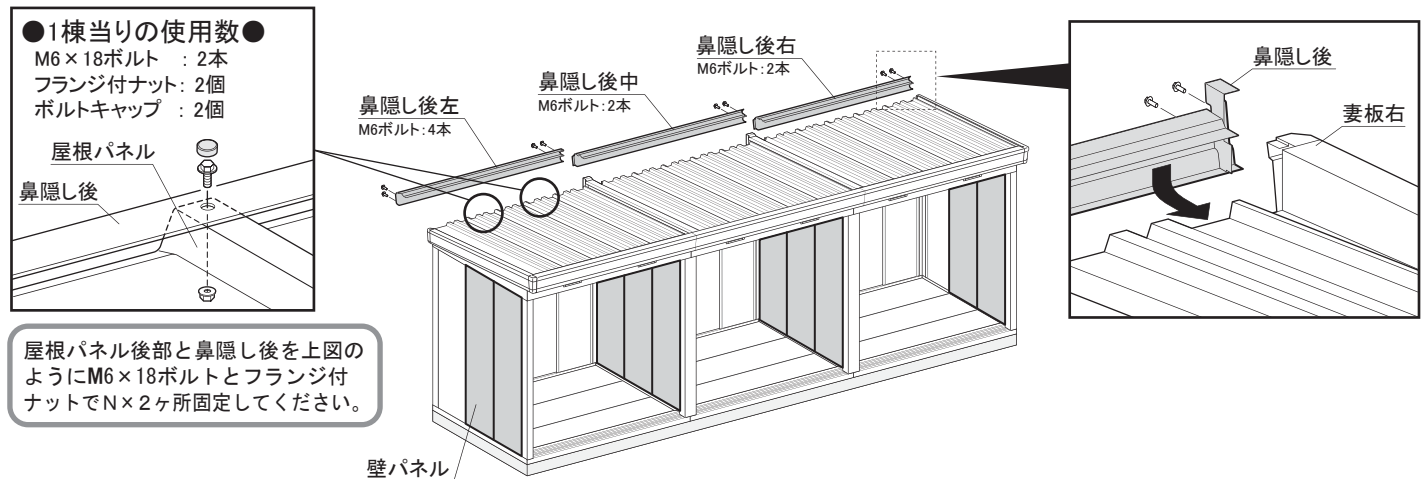
### 13.鼻隠し前取付

柱前中の角穴に鼻隠し前取付金具のペロを引っ掛けボルトで取り付けます。  
鼻隠し前左・鼻隠し前中[3連棟以上]・鼻隠し前右の順に屋根にかぶせボルトで取り付けます。



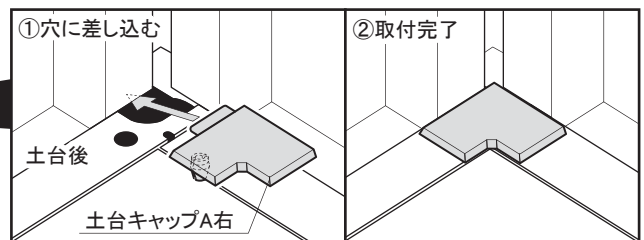
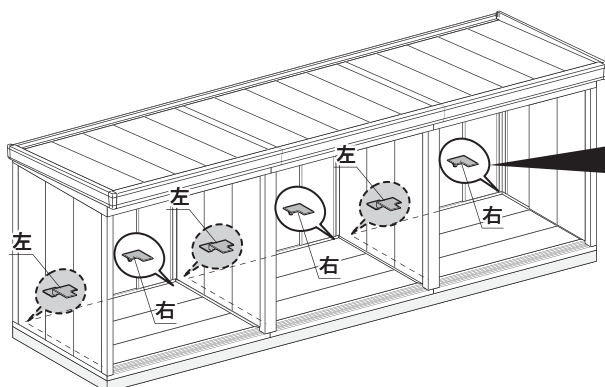
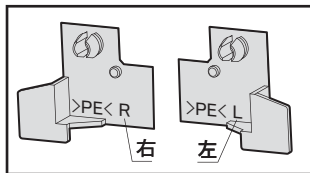
### 14.鼻隠し後取付

鼻隠し後右・鼻隠し後中[3連棟以上]・鼻隠し後左の順に屋根にかぶせボルトで取り付けます。  
壁パネルを「10.壁パネル取付」の壁パネル組合せ図に従って全て取り付けます。  
※別売の雨といやガラス窓は、ここで取り付けます。



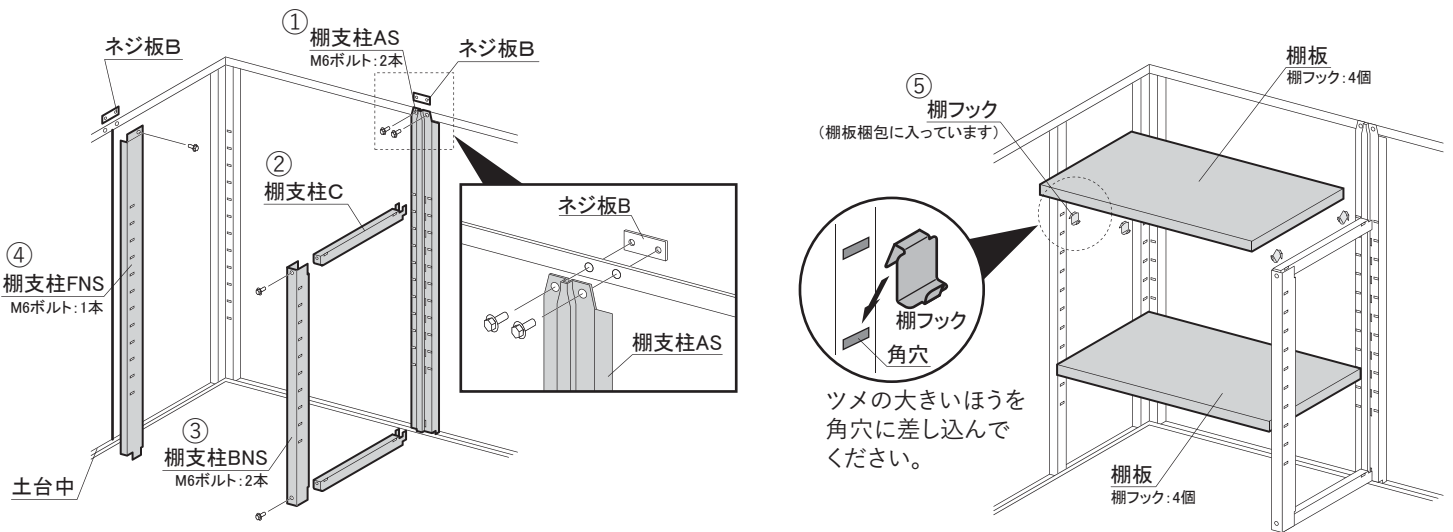
### 15.土台キャップA左右の取付

土台キャップA右と左を庫内の後ろコーナー部に取り付けます。  
※土台キャップAは、左右の形状と取付位置にご注意ください。



## 16. 棚支柱・棚板取付

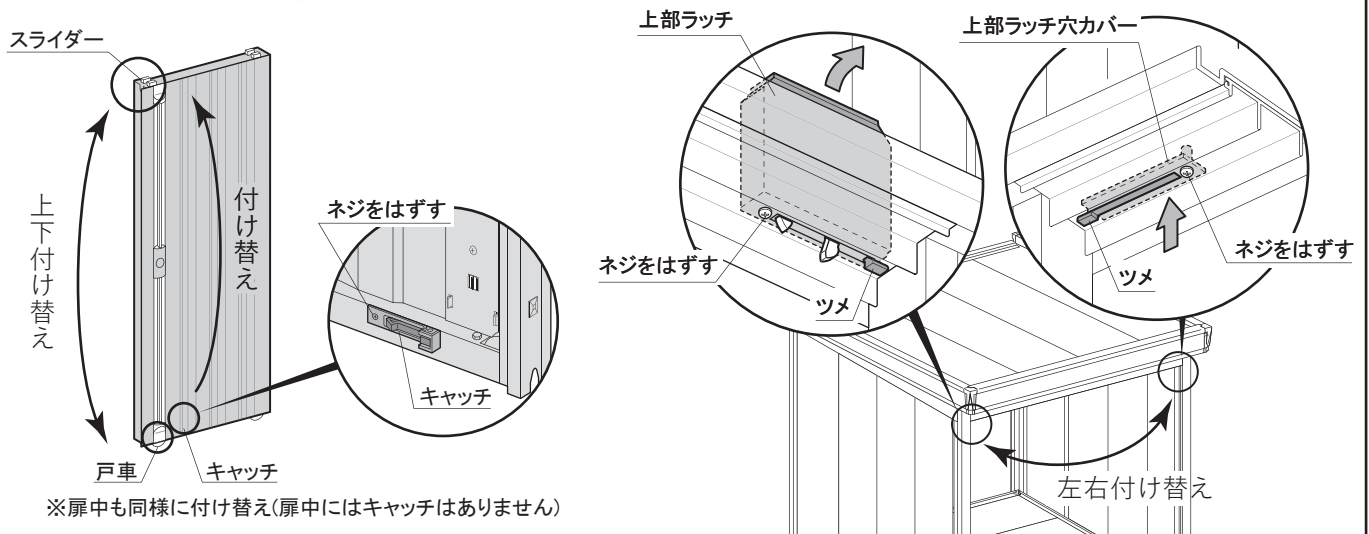
- ① 棚支柱ASの下部を土台後の角穴に差し込み、上部をボルトとネジ板Bで取り付けます。
- ② 棚支柱CをASの上下の角穴に差し込みます。
- ③ 棚支柱BNSをCとボルトで取り付けます。
- ④ 間仕切部は棚支柱FNSの下部を土台中の角穴に差し込み、上部をボルトとネジ板Bで取り付けます。
- ⑤ 角穴に棚フックを差し込み、棚板の4隅部分が確実にフックに引っかかるようにのせます。



## 17. 右開き(逆開き)にする場合の部品の付け替え

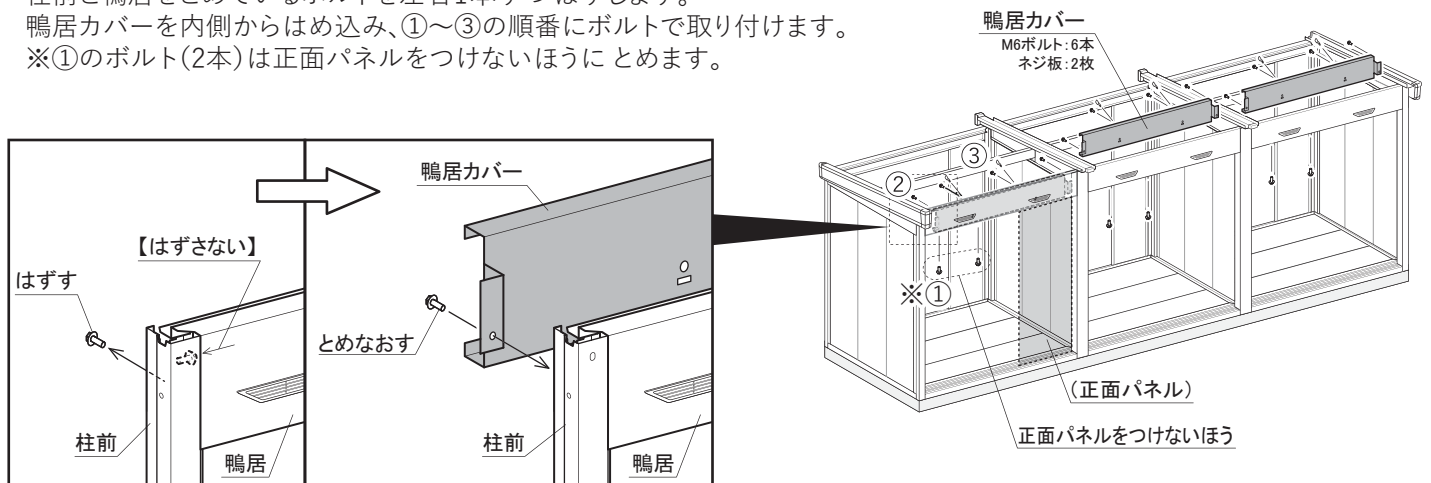
※耐風・耐震補強セットの場合は、全棟の扉を同じ開き方向に統一してください。

- ① 扉前、扉中についている戸車とスライダのボルトをはずし、上下を入れ替えます。
- ② キャッチをはずし、付け替えます。
- ③ 鴨居についている上部ラッチと上部ラッチ穴カバーのネジをはずし左右を付け替えます。  
取り付けの際はツメを引っ掛けて取り付けます。



## 18. 鴨居カバー取付(補強セットの場合)

柱前と鴨居をとめているボルトを左右1本ずつはずします。  
鴨居カバーを内側からはめ込み、①～③の順番にボルトで取り付けます。  
※①のボルト(2本)は正面パネルをつけないほうにとめます。



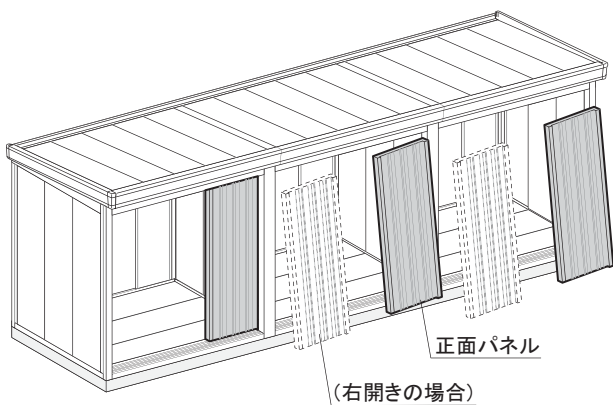
## 19.正面パネル・扉の取付

※耐風・耐震補強セットの場合は、全棟の扉を同じ開き方向に統一してください。

### ①正面パネル取付

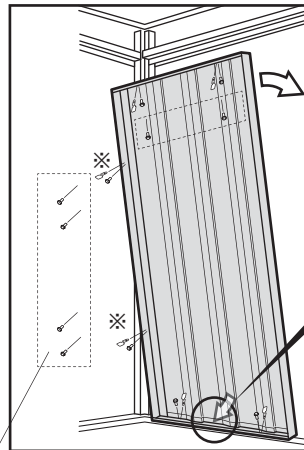
正面パネルを柱前右(柱前左)に寄せて内側からはめ込み、ボルトとネジ板で取り付けます。

※耐風・耐震補強セットの場合は補強金具を取り付けます。(別途組立説明書参照)



(右開きの場合)

補強セット部材と共締め  
(別途組立説明書参照)



正面パネルの下部は、  
庫内側へ押し込む様に  
取り付けてください。  
(押し込みが不十分な  
場合、扉と干渉し傷の  
原因となります)

M6ボルト:N×6本  
ネジ板:N×4枚  
※パッキン付ネジ板:N×2枚

補強セットの場合  
M6ボルト:N×8本  
ネジ板:N×2枚  
(N:連棟数)

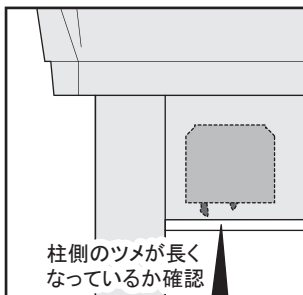
### ②扉前、扉中の取付

1) ラッチの向きを確認します。

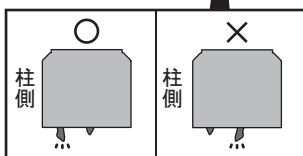
2) 扉中、扉前の順に上部スライダーを鴨居のレールの長穴に差し込み、下部の戸車を土台のレールにのせて扉をはめ込みます。

※カギは扉の裏側に貼り付けてあります。

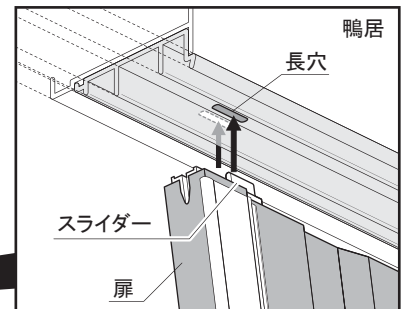
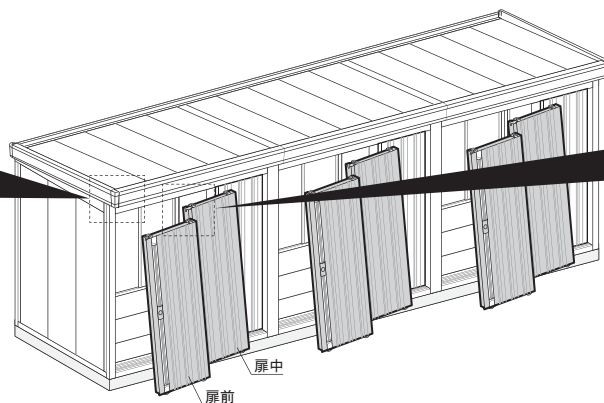
※錠の操作方法は取扱説明書を参照してください。



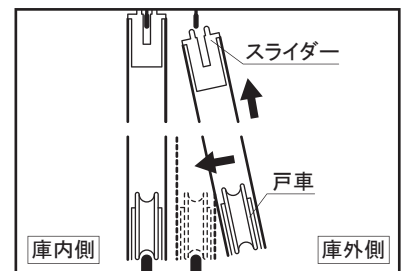
柱側のツメが長く  
なっているか確認



Xの場合はツメを指で動かし、  
柱側のツメが長くなるように  
してください。



レールの長穴にスライダーを差し込む



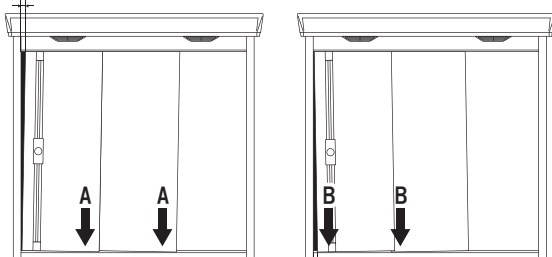
### 扉が閉まりにくい場合

ラッチの向きが○の状態になっているかを確認してください。確実に○の状態にし、扉を閉めてください。

## ★戸当たり調整

扉を閉めて下図のようにスキマが出来た場合は、A・B部の戸車を①②③の手順で調整してください。

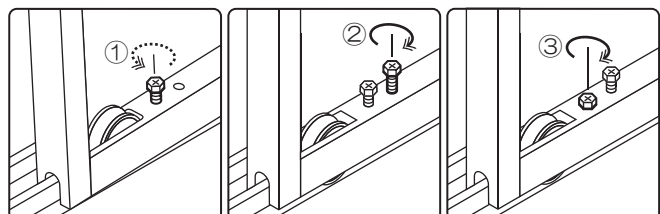
※5mm以内



※5mm以内

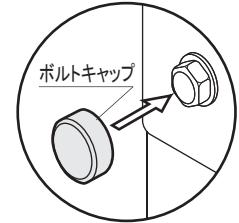
※5mm以上のスキマや上記の要領で調整できない時は、  
土台の水平を直してください。

- ①戸車を固定しているボルトを4~5回転ゆるめる。
- ②部品箱内の戸車調整用のボルトで戸当たりを調整する。
- ③最初にゆるめたボルトを締め付ける。

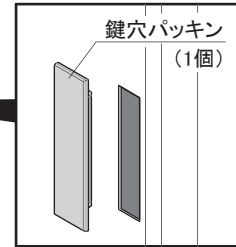
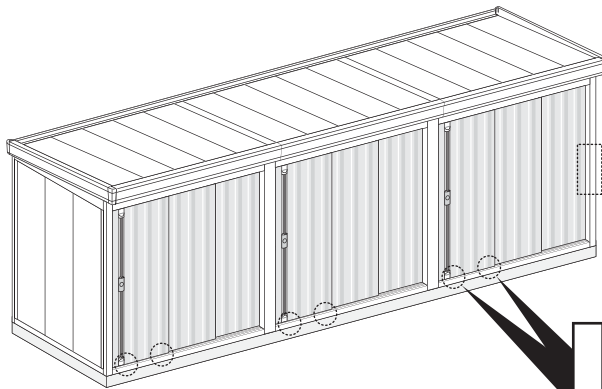


## 20.完成

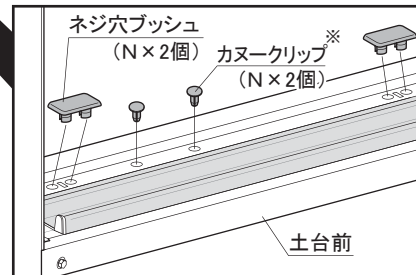
- ①外に出ているボルトにボルトキャップを取り付けます。
- ②土台前のネジ穴にネジ穴ブッシュとカヌークリップ<sup>※</sup>を取り付けます。
- ③柱前の角穴に鍵穴パッキンを取り付けます。
- ④部品箱内の機種シールを所定の位置に貼りつけます。



ボルトキャップ: (N×20 +14)個



鍵穴パッキン  
(1個)



ネジ穴ブッシュ (N×2個) カヌークリップ<sup>※</sup> (N×2個)  
土台前

※カヌークリップは補強セットのみ取り付け。

(N: 連棟数)

## 21.組立が完了したら！

部品箱内の保管ケースに取扱説明書を入れ、壁パネル内側の高さ140cmくらいの位置に貼り付けて保管してください。